

情報モラルの問題に 留意した指導について



広島県教育委員会
義務教育指導課

説明の流れ

- 1 情報モラル教育とは
- 2 情報モラルと道徳教育

1 情報モラル教育とは

情報モラル教育とは

【必要性】

☆学習指導要領の改訂により総則において、
情報モラルを身に付けるよう指導することを明示。

【背景】

☆インターネット上での誹謗中傷やいじめ、犯罪や
違法・有害情報などの問題が発生している現状。
☆情報社会に積極的に参画する態度を育てることは
今後ますます重要。

1 情報モラル教育とは

【目標】

☆情報手段をいかに上手に賢く使っていか、そ
のための判断力や心構えを身に付ける。
☆情報社会の特性の一側面である影の部分を理解。

情報モラル

「情報社会で適正な活動を行うための基に
なる考え方と態度」

【内容及び指導上の留意点】

- ☆各教科等の目標と情報モラル教育の目標との関係を明確にする。
- ☆学校の教育活動全体を通して適切に情報モラルを身に付けるための学習活動を位置付ける。等

全ての児童生徒に情報モラルを身に付ける指導が必要。

情報モラルの指導は、全ての教員が行う。

情報モラル教育の内容

情報社会の倫理・法の理解と遵守

- ・情報に関する自他の権利を尊重して責任ある行動をとる態度
- ・情報社会におけるルールやマナー、法律があることを理解し、それらを守ろうとする態度

安全への知恵・情報セキュリティ

- ・情報社会の危険から身を守り、危険を予測し、被害を予防する知識や態度
- ・生活の中で必要となる情報セキュリティの基本的な考え方、情報セキュリティを確保するための対策・対応についての知識

土台

公共的なネットワーク社会の構築

- ・情報社会の一員として公共的な意識をもち、適切な判断や行動をとる態度

情報モラルに関する指導

各学校においては、児童生徒の発達の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。)、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

【小学校・中学校学習指導要領解説 総則編】

情報モラルに関する指導

社会の情報化が進展する中で、児童生徒は、学年が上がるにつれて、次第に情報機器を日常的に用いる環境の中に入っており、学校や生徒の実態に応じた対応が学校教育の中で求められる。これらは、学校の教育活動全体で取り組むべきものであるが、道徳科においても同様に、**情報モラルに関する指導を充実する**必要がある。

【小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編】

ア 情報モラルと道徳科の内容

●情報社会の倫理, 法の理解と遵守, 安全への知恵, 情報セキュリティ, 公共的なネットワークがあるが, 道徳科においては, 第2に示す内容との関連を踏まえて, 特に, 情報社会の倫理, 法の理解と遵守といった内容を中心に扱うことが考えられる。

例えば

- ・ 思いやり, 感謝や礼儀に関わる指導の際に, インターネット上の書き込みのすれ違いなどについて触れる
- ・ 遵法精神, 公德心に関わる指導の際に, インターネット上のルールや著作権など法やきまりに触れる

イ 情報モラルへの配慮と道徳科

●道徳科では, その特質を生かした指導の中での配慮が求められる。道徳科は道徳的価値に関わる学習を行う特質があることを踏まえた上で, 指導に際しては, 情報モラルに関わる題材を生かして話し合いを深めたり, コンピュータによる疑似体験を授業の一部に取り入れたりするなど, 創意ある多様な工夫が生み出されることが期待される。

例えば

- ・ 相手の顔が見えないメールと顔を合わせた会話との違いを理解しメールなどが相手に与える影響について考えるなど, インターネット等に起因する心のすれ違いなどを題材とした思いやり, 感謝や礼儀に関わる指導
- ・ インターネット上の法やきまりを守れずに引き起こされた出来事などを題材として規則の尊重に関わる授業を進める

イ 情報モラルへの配慮と道徳科

●その際, 問題の根底にある他者への共感や思いやり, 法やきまりのもつ意味などについて, 児童生徒が考えを深めることができるようにすることが重要になる。



●道徳科は, 道徳的価値の理解を基に自己を見つめる時間であるとの特質を踏まえ, 例えば, 情報機器の使い方やインターネットの操作, 危機回避の方法やその際の行動の具体的な練習を行うことにその主眼をおくのではないことに留意する必要がある。

道徳科の特質

「こうなさい」「これはしてはいけません」と具体的な行動の指導をする時間ではなく, 生きる姿勢を固めさせ, 自分自身の生きる拠りどころとなる道徳的価値を自らのうちに定着させる時間

小寺正和(2001)

道徳的価値の自覚を深める

- ◆道徳的価値の理解を基に自己を見つめる
- ◆物事を広い視野から多面的・多角的に考える
- ◆人間としての生き方について考えを深めることができるよう, 実態に応じた指導をしていくことが大切。